

西光寺だより

第一〇四号 平成三二年 四月一日発行

だいぶ暖かくなり過ぎしやすい季節となりました。

今・春・四月

挑戦

今月の西光寺掲示板の言葉であります。

安威川堤防をお参りで通るたび、桜の花が見事に咲いている風景を目にすることです。こうして河川沿いの堤防などに桜の木が植えられているのは、今より設備の整っていない時に「桜の木を植えると色々な人が集まり自然に地盤が固まる」といった理由から植えられるようになったという話しを思い出すことでもあります。

そうしたなか、西光寺の桜も今年も見ることができました。この桜は、前住職が高校卒業の記念に植えられた木。今年で五五年になります。思い出の桜の木であります。

平成最後であり、新しい元号にまたいでの意味のある今、出会えたことへの感慨深さを思います。

来年の新たな時代の桜にも遇えるだろうかと思わせてくれるせつなさを感ずる花でもあります。潔く、ハツと華やいで咲き、しかも下の枝の方から順々に上に咲きだしていく花、いかにも縁の下の力持ちのように下から押し上げるように咲いていく、まさしく**挑戦**を後押ししてくれる力強さを思うことでもあります。

桜は毎年変わることなく咲き、美しい姿を見せてくれます。

ただ時代が変わり、見る人が変わり、思いが変わることによって様々な意味のある桜になっていく。平成も間もなく幕を閉じ、日本は新たな時代を迎えようとしています。次の時代もきっと、桜は美しく花を咲かせ人々を楽しませてくれるでしょう。

そして、自分もまた時代の流れの中に生きる一人であるということ、桜を愛でながら、周りや自分の気持ち次第で変わることなく素直な心で、**美しい姿をそのまま美しいと見ることが**できる感謝を思うことでもあります。合掌

◆先月の報告◆

①三月十三日（金）西光寺本堂にて茨木東組・総代会の合同研修会を行いました。茨木にある十七カ寺のご住職方（茨木東組）とその十七カ寺の寺院の総代の方々（総代会）と一緒に三十二名のご参加をいただき、研修会を行いました。

この度「子どもたちの貧困問題について」というテーマで宇野哲哉師をお迎えし、お話を聞かせていただきました。

私たちはみな、一人ひとりの人生を生きていかなくはなりません。誰も代わってくれない私の人生。だからこそ阿弥陀如来は、その苦難の人生を歩む私たち一人ひとりを必ず救うと願われ、常に一緒にいてくださいます。

その阿弥陀如来の願いを聞く私たちは誰一人取り残されることのない、自他共に心豊かに生きる社会をめざしていくべきであります。

近年、世界では十人に一人が、日本では七人に一人が貧困によって苦しんでいます。お寺はぬくもりを伝え、孤独に向かいかねない子どもたちの居場所になることができます。

仏さまへのお供えや地元の食材で調理し、本堂でいただく食堂をひらいたり、本堂で子どもの学習支援を行ったり、インド・ネパール在住のチベット難民への支援を行っている寺院などを紹介しながら、皆さんで貴重なお話を聞かせていただきました。総代の皆様、お疲れ様でございました。



②三月二十一日(木・祝) 西光寺本堂にて仏教婦人会総会を行いました。総会に先がけ十一時三十分より先人の仏婦の方々を偲びながら、追弔会法要を出席者二十六名一同でお正信偈をお勤めし、御恩報謝の思いでお参りさせていただきました。

その後、十二時よりバラ寿司を和気あいあいと楽しくいただき、十三時より総会となりました。一年の行事、会計報告をし、役員の方々ご苦勞様でした。引き続きのご活躍、期待しております。

そして皆さまと浄土真宗のお焼香の仕方・作法について勉強致しました。来月号にお焼香のイラストを載せますのでまた見てください。



浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一―七―二

電話 〇七二―六二二―四七九四

FAX 〇七二―六二二―九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>

③三月二十六日、総持寺にある常稱寺にて『茨木東組子育て支援』を行いました。今回は寺ヨガをしました。茨木東組が取り組んでいるものであり、子育て中の方や手が離れた方々に集まっていたいただき、お子さんと共にみんなで何かできることはないか、この広いお寺で皆さんでできることはないか考え、この度寺ヨガを開催いたしました。

ヨガの先生に来ていただき、いのちの道場であるお寺で、ヨガを通して心静かに自分と向き合い、心も身体もゆったりと過ごす時間を味わうことができました。参加された方々、ありがとうございました。



◆四・五月の行事◆

・四月六日(土)

春季永代経法要・追弔会

午後二時・午後七時

西光寺本堂

◎御講師 本願寺派布教使 官部 誓雅 師

※なお、追弔会は午後一時三〇分より厳修致します。